

『調査と分析のための統計 —社会・経済のデータサイエンス—』

第1刷 お詫びと訂正

(2007.5)

『調査と分析のための統計 —社会・経済のデータサイエンス—』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

さて、本書の記述に間違いがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

頁数	行数	誤	正
10	4	[3] 山県裕一郎：図解経済統計の「超」読解術，	[3] 山縣裕一郎：図解経済統計の「超」読解術，
16	21	別に分け，その構成比立に応じて	別に分け，その構成比率に応じて
21	脚注	*1 杉山 <sup>[4]</sup> によれば，	*1 杉山 <sup>[5]</sup> によれば，
28	21	(これについては星野・繁樹 <sup>[2]</sup> を参照)．	(これについては星野・繁樹 <sup>[2]</sup> ，星野・森本 <sup>[3]</sup> を参照)．
33	(追加)	—	[3] 星野崇宏，森本栄一：インターネット調査の偏りを補正する方法について—傾向スコアを用いた共変量調整法—(井上哲浩，日本マーケティングサイエンス学会編：Web マーケティングの科学—リサーチとネットワーク—，pp.27-59)，千倉書房 (2007) ※これに伴い、文献番号[3]・[4]を繰り下げる
101	21	過程⑤： $\mathbf{X} \sim N(0, \sigma^2 \mathbf{I})$	過程⑤： $\boldsymbol{\varepsilon} \sim N(0, \sigma^2 \mathbf{I})$
104	8	$SE(b_i) = \frac{\sqrt{\sum_{j=1}^n e_j^2 / (n - k - 1)}}{\sqrt{\sum_{j=1}^n (x_{ij} - \bar{x}_i)^2}}$	$SE(b_i) = \frac{\sqrt{\sum_{j=1}^n e_j^2 / (n - k - 1)}}{\sqrt{\sum_{j=1}^n (x_{ij} - \bar{x}_i)^2}}$
111	13,14	$X_2$ の係数：… → 帰無仮説 $H_1$ 採択 (無効) $X_3$ の係数：… → 帰無仮説 $H_1$ 採択 (無効)	$X_2$ の係数：… → 帰無仮説 $H_0$ 採択 (無効) $X_3$ の係数：… → 帰無仮説 $H_0$ 採択 (無効)
114	表 9.6	(別記 1)	
115	1	DW 統計量が $DW = 1.801$ で	DW 統計量が $DW = 1.976$ で
123	7	$f_{\max(i=1)} = 223$ , $f_{\max(2)} = 224$	$f_{\max(i=1)} = 223$ , $f_{\max(j=2)} = 224$

頁数	行数	誤	正
130	4	[2] 池田 央, 岡太琳訓 訳, G. アプトン 著: 調査分類データの解析法, 朝倉書店 (1980).	[2] 池田 央, 岡太 <b>彬</b> 訓 訳, G. アプトン 著: 調査分類データの解析法, 朝倉書店 (1980).
140	2	数量化 I 類と同様に, 求められたカテゴリースコアから	数量化 I 類と同様に, 求められたカテゴリースコア ( <b>p.134, 脚注*2 参照</b> ) から
145	15	通常, 特性方程式の…得られるカテゴリースコアに,	通常, 特性方程式の…得られるカテゴリースコア ( <b>p.134, 脚注*2 参照</b> ) に,
149	12	$Q = -\sum_{i \neq 1}^n \sum e_{ij} (x_i - x_j)^2$	$Q = -\sum_{i \neq j}^n \sum e_{ij} (x_i - x_j)^2$
150	12	$Q = -\sum_{i \neq 1}^n \sum e_{ij} \{(x_i - x_j)^2 + (y_i - y_j)^2\}$	$Q = -\sum_{i \neq j}^n \sum e_{ij} \{(x_i - x_j)^2 + (y_i - y_j)^2\}$
153	15	[8] 森本栄一: 戦後日本の統計学発達	[8] 森本栄一: 戦後日本の統計学の <b>発達</b>
154	12	林博士の統計思想は,	<b>林</b> の統計思想は,
167	3	$2 \times (7.0026 \times 10^{-5} \times (\text{資本金の値}) - 5.26 \times 10^{-4} \times (\text{設備投資の値})) - 1.71$	$2 \times (7.0026 \times 10^{-5} \times (\text{資本金の値}) - 5.26 \times 10^{-4} \times (\text{設備投資の値})) + 1.71$
172	脚注	③ 標本数: 12 000 指令 (有効数 10 000 万人)	③ 標本数: 12 000 指令 (有効数 <b>10 000 人</b> )
173	表 13.2	調査年	<b>年次</b>
181	表	(別 記 2)	
188	1	本書に掲載されている主なサンプルデータ (例題・練習問題など) は, 丸善株式会社の	本書に記載されている主なサンプルデータ (例題・練習問題など), <b>分布表解説, 正誤表</b> は, 丸善株式会社の
奥付		上藤 一郎 (…) 現職: 鈴鹿国際大学国際学部 教授 : 常包 昌宏 (…) 現職: みずほ情報総研株式会社 銀行システムグループ	上藤 一郎 (…) 現職: <b>静岡大学人文学部 教授</b> : 常包 昌宏 (…) 現職: <b>データ・フォアビジョン株式会社 ソリューション第五本部 数理分析第一部</b>

別記 1 (p.114 「表 9.6 回帰診断 II」)

(誤)

年次	変数 Y 合計特殊 出生率	変数 $X^2$ 女子平均 初婚年齢	残差 $e$	$e^2$	$e_t - e_{t-1}$	$(x - \bar{x})^2$	作用点 $h$
1980	1.75	25.2	0.0036	0.00001		1.034	0.448
1985	1.76	25.5	0.0805	0.00648	0.0769	0.514	0.307
1990	1.54	25.9	-0.0503	0.00253	-0.1308	0.100	0.194
1995	1.42	26.3	-0.0811	0.00658	-0.0308	0.007	0.169
2000	1.36	27.0	0.015	0.00023	0.0961	0.614	0.334
2003	1.29	27.4	0.0342	0.00117	0.0192	1.400	0.548
合計 平均 DW 統計量	1.520 1.801	26.217		0.017	0.031	3.668	

(正)

年次	変数 Y 合計特殊 出生率	変数 $X_2$ 女子平均 初婚年齢	残差 $e$	$e^2$	$(e_t - e_{t-1})^2$	$(x - \bar{x})^2$	作用点 $h$
1980	1.75	25.2	0.0036	0.00001		1.034	0.448
1985	1.76	25.5	0.0805	0.00648	0.0059	0.514	0.307
1990	1.54	25.9	-0.0503	0.00253	0.0171	0.100	0.194
1995	1.42	26.3	-0.0811	0.00658	0.0009	0.007	0.169
2000	1.36	27.0	0.015	0.00023	0.0092	0.614	0.334
2003	1.29	27.4	0.0342	0.00117	0.0004	1.400	0.548
合計 平均 DW 統計量	1.520 1.976	26.217		0.017	0.034	3.668	

別記 2 (p.181 「標準正規分布表」)

(誤)

確率 $\alpha$	0.0	0.1	0.2	...	0.7	0.8	0.9
0.000		-1.2816	-0.8416	...	0.5244	0.5244	1.2816
0.005	-2.5758	-1.2536	-0.8239	...	0.5388	0.5388	1.3106
0.010	-2.3263	-1.2265	-0.8064	...	0.5534	0.5534	1.3408
0.015	-2.1701	-1.2004	-0.7892	...	0.5681	0.5681	1.3722
0.020	-2.0537	-1.1750	-0.7722	...	0.5828	0.5828	1.4051
0.025	-1.9600	-1.1503	-0.7554	...	0.5978	0.5978	1.4395
0.030	-1.8808	-1.1264	-0.7388	...	0.6128	0.6128	1.4758
0.035	-1.8119	-1.1031	-0.7225	...	0.6280	0.6280	1.5141
0.040	-1.7507	-1.0803	-0.7063	...	0.6433	0.6433	1.5548
0.045	-1.6954	-1.0581	-0.6903	...	0.6588	0.6588	1.5982
0.050	-1.6449	-1.0364	-0.6745	...	0.6745	0.6745	1.6449
0.055	-1.5982	-1.0152	-0.6588	...	0.6903	0.6903	1.6954
0.060	-1.5548	-0.9945	-0.6433	...	0.7063	0.7063	1.7507
0.065	-1.5141	-0.9741	-0.6280	...	0.7225	0.7225	1.8119
0.070	-1.4758	-0.9542	-0.6128	...	0.7388	0.7388	1.8808
0.075	-1.4395	-0.9346	-0.5978	...	0.7554	0.7554	1.9600
0.080	-1.4051	-0.9154	-0.5828	...	0.7722	0.7722	2.0537
0.085	-1.3722	-0.8965	-0.5681	...	0.7892	0.7892	2.1701
0.090	-1.3408	-0.8779	-0.5534	...	0.8064	0.8064	2.3263
0.095	-1.3106	-0.8596	-0.5388	...	0.8239	0.8239	2.5758

(正)

確率 $\alpha$	0.0	0.1	0.2	...	0.7	0.8	0.9
0.000		-1.2816	-0.8416	...	0.5244	0.8416	1.2816
0.005	-2.5758	-1.2536	-0.8239	...	0.5388	0.8596	1.3106
0.010	-2.3263	-1.2265	-0.8064	...	0.5534	0.8779	1.3408
0.015	-2.1701	-1.2004	-0.7892	...	0.5681	0.8965	1.3722
0.020	-2.0537	-1.1750	-0.7722	...	0.5828	0.9154	1.4051
0.025	-1.9600	-1.1503	-0.7554	...	0.5978	0.9346	1.4395
0.030	-1.8808	-1.1264	-0.7388	...	0.6128	0.9542	1.4758
0.035	-1.8119	-1.1031	-0.7225	...	0.6280	0.9741	1.5141
0.040	-1.7507	-1.0803	-0.7063	...	0.6433	0.9945	1.5548
0.045	-1.6954	-1.0581	-0.6903	...	0.6588	1.0152	1.5982
0.050	-1.6449	-1.0364	-0.6745	...	0.6745	1.0364	1.6449
0.055	-1.5982	-1.0152	-0.6588	...	0.6903	1.0581	1.6954
0.060	-1.5548	-0.9945	-0.6433	...	0.7063	1.0803	1.7507
0.065	-1.5141	-0.9741	-0.6280	...	0.7225	1.1031	1.8119
0.070	-1.4758	-0.9542	-0.6128	...	0.7388	1.1264	1.8808
0.075	-1.4395	-0.9346	-0.5978	...	0.7554	1.1503	1.9600
0.080	-1.4051	-0.9154	-0.5828	...	0.7722	1.1750	2.0537
0.085	-1.3722	-0.8965	-0.5681	...	0.7892	1.2004	2.1701
0.090	-1.3408	-0.8779	-0.5534	...	0.8064	1.2265	2.3263
0.095	-1.3106	-0.8596	-0.5388	...	0.8239	1.2536	2.5758

以上

『調査と分析のための統計 社会・経済のデータサイエンス』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

さて、本書の第2刷の記述に間違いがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

頁数	行数	誤	正
5	10	定統計および...に基づく承認統計に分類されます。	定統計および...に基づく承認統計に分類されます*1。
5	(追加)		*1 2007年に全面改正され、2009年に完全施行される新統計法では、政府統計を「公的統計」とし、おおむね従来の指定統計を「基幹統計」、それ以外の公的統計を「一般統計」として区別することになっています。なお新統計法の実施に伴い、統計報告調整法は廃止されることになっています。
34	9	せられた staiscus は ,ragione status (状態の記録, 国家の記録)	せられた staiscus は ,ragione status (国家理性, 国家の記録)
34	23	ラテン語の ratio status( 国家の状態の記録)	ラテン語の ratio status( 国家理性)
奥付		森本栄一 (...) 現職: 株式会社ビデオリサーチ研究開発部 副主事  常包昌宏 (...) 現職: データ・フォアビジョン株式会社 ソリューション第五本部 数理分析第一部	森本栄一 (...) 現職: 株式会社ビデオリサーチ研究開発部 <b>主事 (専門社会調査士)</b>  常包昌宏 (...) 現職: データ・フォアビジョン株式会社 <b>数理分析本部 ソリューション第六部</b>

以上